

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	大阪公立大学(仮称)中百舌鳥工学	階数	地上2F
建設地	大阪府堺市中区学園町174番1他	構造	S造
用途地域	近隣商業地域・第二種中高層住居専	平均居住人員	210人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年12月 予定	評価の実施日	2022年8月4日
敷地面積	6,388㎡	作成者	鹿島建設 佐藤 和人
建築面積	4,080㎡	確認日	2022年8月4日
延床面積	5,571㎡	確認者	鹿島建設 佐藤 和人



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%
②建築物の取組み 83%
③上記+②以外の 83%
④上記+ 83%

92 (kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア= 2.8

Q1 室内環境 Q1のスコア= 3.0

Q2 サービス性能 Q2のスコア= 3.1

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア= 2.2

LR 環境負荷低減性 LRのスコア= 3.4

LR1 エネルギー LR1のスコア= 3.7

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 3.2

LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合	当建物は大阪公立大学の百舌鳥キャンパスに新設される「新センター棟」である。既存の生産技術センターを拡張整備することを目的とした計画である。	その他 特になし
Q1 室内環境	各居室に窓を設計してあり、日光を積極的に取り入れる計画となっている。特に2階はバルコニーを多く設ける事で、高い採光・換気性を有する。	Q3 室外環境(敷地内) 建物北東面、歩行者から見える外壁面はカーテンウォールとルーバーによりデザイン性を持たせ、2階建てセットバック形状とすることで建物の圧迫感を軽減させる。空調設備等は屋上設置とし、歩行者へ温熱環境の配慮を行う。
LR1 エネルギー	外皮性能BPI=0.61、一時エネルギー消費量BEI=0.75とどちらも高水準である。全熱交換器のナイトページによる自然換気機能も備える。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率83% 建物周辺の交通負荷等へ配慮した設計となっている。
Q2 サービス性能	階高が高い為、高い開放感を得られる。内部間仕切りがLGSの為、後のレイアウト変更や内装変更を容易に行える。	
LR2 資源・マテリアル	各種水栓への節水機器の採用。中水利用。一部、リサイクル材使用などの取組みがある。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



1. 建物概要	建物名称	大阪公立大学(仮称)中百舌鳥工学系学舎整備事業工事(仮称)新センター棟	BEE	BEEランク
	建設地	大阪府堺市中区学園町174番1他	1.1	B+
	主用途/延床面積	学校(大学等) / 5,570.96 m ²		

2. 重点項目への取組み

重点項目	評価点	取組み度
CO ₂ 削減	4	
みどり・ヒートアイランド対策	2	
エネルギー削減	4	
建物の断熱性	5	
安全快適な暮らし	3	
自然エネルギー利用	○	

再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	-	風力	-	地熱	-		
	太陽熱利用	-	水力	-	バイオマス	-		

3. 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア

CO ₂ 削減	評価項目	スコア	評価点
地球温暖化への配慮	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価値	3.6	4
みどり・ヒートアイランド対策	評価項目	スコア	評価点
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価値	1.0	2
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3.2」のスコアによる評価値	2.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2.2」のスコアによる評価値	3.0	
エネルギー削減	評価項目	スコア	評価点
設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価値	3.5	4
建物の断熱性	評価項目	スコア	評価点
建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価値	5.0	5
安全快適な暮らし	評価項目	スコア	評価点
バリアフリー計画	CASBEE「Q2-1 1.1.3」のスコアによる評価値	4.0	3
耐震・免震	CASBEE「Q2-2 2.1」のスコアによる評価値	3.0	
地域性への配慮、快適性の向上	CASBEE「Q3-3 3.1」のスコアによる評価値	3.0	
交通負荷抑制	CASBEE「LR3-2 2.3.3」のスコアによる評価値	3.0	
自然エネルギー利用	評価項目	スコア	評価点
自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価値	4.0	○

4. その他

技術の名称	考慮事項
特になし。	
特に配慮した事項	
特になし。	